

《札幌地域イオル再生事業ライブラリー調査聞き取り》

【話者】 K. Tさん

【実施日】 平成 25 年 2 月 16 日（土）

生い立ち

- ・母：アイヌ（石狩市生振生まれ）、父：和人 ※父が婿入り
- ・母方の親族はすべてアイヌ
- ・年齢：60 歳代前半

聞き手 A：こないだ電話で言ったように石狩アイヌの末裔の方から、色々なお話を聞きたくて。

K さん：もう石狩アイヌいないべ。

聞き手 A：いないの？こないだ K. S さんのところへ行って来たんだけど、東京のほうへ行ったとか高齢でご病気してるとかでないの。K. T さんの知ってる範囲でいいので聞かせていただければ。

K さん：あんたが昔のこと知らないように、俺もあんまり知らないな。俺はウタリ協会に入ったのは娘が高校に行くときさ～、銭がないから……。それと親が入ってたから！もう親死んで今年で 29 年かな？それまでたいして興味なかったけど、いざ自分が……国から学費が出るもんであればと思ってな。もう娘も 38 になるんだよ、今年。そしたら 2 人目のかみさんもらって、また 2 人子ども生まれたんだわ。だからたいした助かったよ。だからもうやめるかなとも考えているけど、どうなんかな？年間 5 千円（会費）払うの痛ましいとは思わないけど……。20 年くらい前なら家でも建てる金借りるかな？……とも思ったけど、幸いにして古い家持ってた立ち退きになったから。

聞き手 A：そのころ、家持っていたんですか？ウタリのお金で？

K さん：違う違う。自分で稼いで。10 年間で金利 400 万も払ったよ。今から 20 年くらい前か？

聞き手 A：お仕事は……ダンプか重機のお仕事？

K さん：そうそう。そのころは景気良かったから。全部手放して、残ったのが家一つ。

聞き手 A：その家が立ち退きになって、今の……この家買ったんですか？

K さん：そうそう。新品買ったなら全部その金なくなるから、中古買えば半分で済むし。努力して自営業しても年金なんかないしょ。6 万やそこらで食っていけるか？ずっと続けてなんていけねえから、年とってくると特に。なんかウタリの人も頭いい人

たくさんいるんだから。あと会合とかなんか、いまだかつて出たことないんだわ。

聞き手A：お兄さんはよく来てくれてたな。

K さん：でも俺が行くって……なんか企みがあって行くってことだから。なんか金儲けないと。そして俺、4～5年静内の派遣会社にいたんだわ。そしたらそこにたくさんいるわな、アイヌの人。でもお互いに確認とかはしなかったよ。あと、小さいころは差別があったからひどかったしよ。

聞き手A：どちらで生まれたんですか？

K さん：浜益で生まれた。うちの親父はシャモ（和人）だから。母親のところに婿に入ったんだ。

聞き手A：お父さんはどこから来たんですか？

K さん：こないだ住民票とったんだわ、全部。だけど親父の母親、爺さん、婆さんまでは出たけど、だけどアイヌじゃないんだわ。親父の父親が北海道に来たのって……昔はニシン場でしょ？しかも、そういうところに来るのは、長男じゃないしょ？でも、親父の戸籍には父親の名前が無いから、わかんねえわ。どうゆうわけかわからんけど……。

聞き手A：お母さんはずっと……浜益で生まれたんですか？

K さん：俺のおふくろは石狩の生振で生まれて、母親はアイヌだわな。母親の親は二人ともアイヌなんだわ。

聞き手A：お母さん…Kさん（K. Tさんの名字）で……。

K さん：KじゃなくK' って（名字）なんだわ。

聞き手A：みんな言うもんね。K' とK家がアイヌで、Tがあれなんでしょ？

K さん：Kって浜益の人なんだわ。

聞き手B：このあいだ言ってたK家のK2さんとは、どういう関係なんですか？

K さん：100年前に先祖が別れたの。

聞き手A：別におじさんとかいとことかじゃないんだ～。

K さん：違う、違う。

聞き手A：浜益で生まれたって仰ってたよね？小学校とかも浜益でした？

K さん：生まれてから3歳の時に生振に来たから。

聞き手A：お父さんはそのころ、生振で仕事何してたの？

K さん：何してたかわかんないけど、きっと小作人だわな。田んぼ借りて作って、冬になったら山に木を切りに行って。

聞き手B：お母さんは、なんかアイヌのことしてたんですか？

K さん：言わなかったな、俺にはな。そういう人間じゃなかったから、特に生活の中でアイヌとかそういうのはなかったな。じいさん（アイヌ）は、北大にたくさん友達いたらしいけどな。あのじいさんが死んだのは俺が5歳くらいの時だから。その前は熊とかの猟師やってたから、生振で網元やってたから、石狩川で。北大行ったらなんかあるんじゃないかな？婆さんも生振で春になったら、熊の子っこ連れてきてたんだよ。

聞き手A：家で飼ってたの？

K さん：親熊撃ったから連れてきたんだ。ハナって名前つけてたな。

聞き手A：もうちょっと大きくなったら、熊送りとかしたんじゃない？

K さん：当時はそんなことしてたかな？植物園あたりでやったらしいのは知ってるけど、わからんわ。大きくなったら飼えないしよ。昔は3月って言ったら熊撃ちだから、まだ穴の中にいるの、雪あるうちだから。今の時代みたく鹿じゃなく、熊しか狙わないから、昔は。毛皮や肉は全部売っぱらったんじゃないの？ところでアイヌの人口は減ってるの？

聞き手A：会員数でしかわかんないよね。

聞き手B：お子さんたちは、お父さんはアイヌなんだなと自然と生活の中で理解していたの？

K さん：そう。親戚もたくさんいるし、会話も子どもいようがアイヌの話するし。子どもも別にそんな話しないし。

聞き手A：生振には何歳までいたの？

K さん：中学校まで。

聞き手A：中学校って生振にあるの？

K さん：あったんだよ、燃えちゃったけど。今から30年くらい前かな？

聞き手A：じゃあ中学まで生振にいて、卒業して札幌に働きに来たんだ～。親御さんと来たんじゃない、一人で働きに来たの？

K さん：そうそう。だからもう15歳で親の飯は食ってないわな。高校も出てないし。兄貴や姉ちゃんなんか頭良かったけど、学校に行くとかっていう時代じゃないし、親二人とも字書けないから、そういう人が何教育すんの？だから、勉強しなさいって言われたこともないよ。実際、俺も勉強なんかしなかったし、ただ小学校の先生が恵庭の重機屋の社長と同級生で、そこに行けと言われて、重機ってわかんないけど行ってみるか？……って行ったの。だからそのまま今まで職種を変えたことがない。重機っていうものしか知らない。まあそれで46年は食べてきたわ。

聞き手B：じゃあ木彫りしたり……家の中にはアイヌは全然なかったんだ……。お母さんが刺繍したりとかも？

K さん：ないない。親戚にはいたみたいだし、知ってたよ。AとかTはいる。あれで食っていけるならいいけど。やりたいよ、人に使われないもん。

聞き手A：お父さんやお母さんの思い出やご兄弟で遊んだ思い出を聞かせてください。親戚で集まった時とか？

K さん：いつも喧嘩ばかりしてたな～。葬式の時なんて、ひどい喧嘩してたぞ～。集まってもみんな自然とわかってるし、わざわざアイヌの話はしなかったかな～。

Kさん妻：そういえばうちの娘も刺しゅうの訓練に行ってたから、それはできるわ！すごい大変だよね！細かいし！着物とかも見たら細かいし！

K さん：だから、これとってアイヌの生活を意識してないんだよな～。

聞き手A：お父さんやお母さんはどうだったんだろうね？着物なんかはなかったのかな？

K さん：アイヌの着物着てる写真はあった気がするけど、口に入墨はしてなかったな。それに俺が18くらいの時に死んでるから。漁師だったから、石狩川でカワガニ獲ってたんだ。当時あんなもの売れないから、畑の肥料にしてたんだ。それで俺たち小さいから、煮て食ってたんだ～。

聞き手A：それは、誰が獲ってたんですか？

K さん：おじさんも獲ってたし、その息子も獲ってたし、俺の母親の本家だからもともとそうやって暮らしてたんじゃないの？石狩川で。ヤツメとかチカとかエビとかいるんなもの獲れたから。

聞き手A：自分のうちでも食べたりしました？

K さん：今、俺のイトコが跡継いでやってるけど、網も全部売っぱらって残ってるのは権利しかない……俺らがやってたらでかくなってるよ、きっと……。俺のお袋のおじさんって人には子どもいなかったんだわ。死んで、俺のおばさんに当たる人の子どもが今やってるんだわ。

聞き手A：海の漁師？川の漁師？

K さん：石狩川ってのは、海も川も漁できたんだわ。今、川で獲れるのはほとんどないから、もとはチカとかヤツメ獲って暮らしてたし、昔は魚であれば売れたんだ。北海道に今どれくらいいるの？アイヌの人。

聞き手A：どれくらいかな～？今、またしっかり調べないと……って北大がやってるけどね。北海道庁で発表してるのが2万4千人くらいって言ってるけどね。

K さん：そんなに少ないべ～。

聞き手A：だからずっと調査してるんだよね。

聞き手B：自分でアイヌだと手を上げれる人の数ってということなんです。

Kさん妻：手を上げられない人がいるんだ……やっぱり……。

聞き手B：います！います！あと、親が嫌で子どもに伝えてきてないから、わからない人とかもいるし。

K さん：だから、子どもはどうしてわかったのかって！

Kさん妻：小さい時から言ってたから！やっぱり悩んで……毛深いこと気にしてたけどね！

K さん：あとウサギやなんかも獲ってたし。食べたよ！昔、アイヌネギとかよく食べたし。

聞き手A：お兄さんの連絡先、わかりますか？

K さん：変わったからな～3年前に！あるよ！教えてやれ！

Kさん妻：お兄さんのところにも行くの？

聞き手A：連絡とってみて、行けるようであれば……行きたいなと思ってるんですけど。

Kさん妻：お兄さんは結構わかってるかも！